市報
にいがた
昭和48年2月25日発行
No. 363

市の人口
前月比
人口 398,965(＋ 395)
男 194,766(＋ 237)
女 203,929(＋ 158)
世帯数 120,413(＋115)
48. 1 31 現在

毎月3回5・15・25日発行（昭和30年9月20日第三種郵便物認可）
定価 1部3円
発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町866
電話 代表(2)1000
編集人 本間高明
印刷所 (株)旭光社

「みなと大橋」建設へ
基本計画の調査を開始

新潟市と県は「みなと大橋」（仮称）建設への基本計画の調査と大橋（仮称）建設側調査委員会＝建設省北陸地方建設局、運輸省第二港湾建設局、県、市の四者の現状と問題点②関連計画の整備と対応策＝の二項目を調査します。

調査費は、県、市それぞれ五百万円。

昨年十月に行なわれた、みなと大橋（仮称）建設側調査委員会＝建設省北陸地方建設局、運輸省第二港湾建設局、県、市の四者の現状と問題点②関連計画の整備と対応策＝の二項目を調査します。

調査費は、県、市それぞれ五百万円。

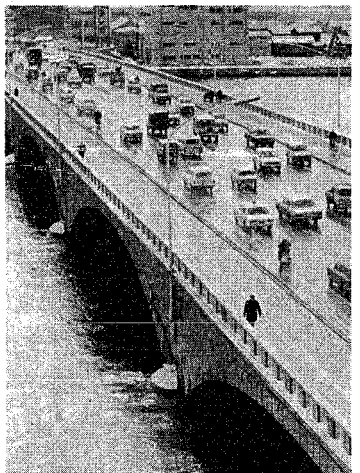
昨年十月に行なわれた、みなと大橋（仮称）建設側調査委員会＝建設省北陸地方建設局、運輸省第二港湾建設局、県、市の四者の現状と問題点②関連計画の整備と対応策＝の二項目を調査しました。

調査の結果を検討して、調査内容の検討②概略ルートおよび短期計画③交通量の推定④位置づけ調査の検討⑤経済効果＝の五項目、県は①技術的検討②実施計画③概略設計および短期計画＝などの検討を行なっていきます。

東新潟と西新潟を結ぶ橋は、現在、信石橋、昭和大橋、八千代橋万代橋の四つ。しかし、市内の交通量は増大する一方で、四つの橋は渋滞するばかり。

この交通麻痺を解消するため、万代橋の下流に、橋を架けて欲しいという要望が市民の間からたかまっていました。

コンサルタントの報告をまって来年度は①概要内容の検討②実施計画および短期計画③概略設計


渋滞で緩和が望まれる東・西新潟間＝写真は万代橋

市街化区域内
土地の有償譲渡は届出を
土地の先買い制度発足

私たちが住み、さまざまな活動をいとなんでいる都市＝このような都市を住みよく、働きよくするためには、道路、公園、下水道、学校などの施設を計画的に整備する必要があります。しかし、私たちのまわりを見まわしてみると、まだまだ施設の整備が十分とはいえません。しかも、地価の上昇などがわざわいして、施設の整備をすすめるための土地の取得が思うように、すすまない傾向にあります。

そこで、県や市などが、道路、公園などの公共的な目的のために必要な土地を計画的にしかも先行的に取得することができる制度、すなわち土地の先買い制度があらたにできました。

この土地の先買い制度は、都市計画法により定められている市街化区域内に適用され、働きぐみが土地の売買などを行なおうとするときに、そのことを県知事などに届け出て、市や県などが、その土地を道路、公園などのために必要と認めれば、その土地を優先的に譲り受けることができる制度です。

あなたが市街化区域内の次のような土地を有償で譲渡しようとする場合＝

①都市計画で決められた道路、公園などの施設の予定区域内の土地であるとき②道路、河川、飛行場、新幹線などの予定区域として定められた区域内の土地であるとき③新たに市街地の形成を目的とした県知事が指定し、公報で公告した土地区画整理事業などの施行行区域の土地であるとき④面積が二千平方メートル以上の土地であるとき、または史跡、名勝、天然記念物の区域内の土地＝県知事が指定し、公報で公告したものであるとき③新たに市街地の形成を目的とした県知事が指定し、公報で公告した土地区画整理事業などの施